

## 第71回年次大会研究発表募集

一般社団法人日本繊維機械学会は昭和23年に創立以来、「繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展を図り、かつこれに関する工業の発展に資すること」を目的として諸活動を展開してまいりました。

お蔭さまで、年次大会も第71回目を迎えます。本学会の年次大会の特色は、繊維機械を含む繊維・繊維製品がかわる幅広い領域を網羅していること、製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされることにあります。今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう、幅広い分野からの発表を募集します。

年次大会は年に一度、全国の会員が一堂に会して、研究発表会、特別講演会、懇親会に参加し、学術的・技術的交流を深め、情報交換、意見交換をする最も良い機会と考え、皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思います。また、35歳以下の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」、「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます。ベテランの研究者から、経験の少ない若手の方々まで、多くのおみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしております。

**期日** 平成30年6月1日(金)、2日(土)

**会場** 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、北へ徒歩3分）

### 発表募集内容

[ ]内はオーガナイザー

#### 1. 研究発表セッション

##### (a) テキスタイル・アパレルの科学と工学

[金井博幸（信州大学）、朱春紅（信州大学）、末弘由佳理（武庫川女子大学）、辻 創（カケンテストセンター）、松岡敏生（三重県工業研究所）]

キーワード：繊維工学（繊維製品に関わる技術、性能試験）、ウェアの高機能化（安全、安心、健康）、繊維製品と感覚計測（風合い、快適性、感性評価）

##### (b) 繊維機械の科学と工学

[喜成年泰（金沢大学）、太田成利（村田機械）、橋本欣三（TMT マシナリー）、保田和則（愛媛大学）、山田茂生（津田駒工業）]

キーワード：繊維機械の基礎研究、流れの科学、繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術、紡績技術、化合繊維機械、織機、編機、準備機械、織編組技術、各種繊維関連機器

##### (c) ナノファイバー

[山下義裕（大阪成蹊短期大学）、小野努（岡山大学）、金翼水（信州大学）、中根幸治（福井大学）、向井康人（名古屋大学）]

キーワード：フィルター、ナノテクノロジー、エレクトロスピニング、メルトブローン、生体材料

##### (d) スマートテキスタイル

[堀 照夫（福井大学）、柴田和明（シバタテクノテキス）、高橋秀也（大阪市立大学）、藤田浩行（兵庫県立工業技術センター）]

キーワード：導伝繊維、スマート材料、環境、実装、情報

##### (e) 環境対応技術

[小田 涼太（三晶）、内丸もと子（M.U.PLANING）、豊田 宏（太陽工業）]

キーワード：リデュース、リユース、リサイクル、省エネ、エコロジー、LCA、生分解性、未利用資源、バイオマス、環境負荷低減、節電、軽量

##### (f) 繊維強化複合材料

[中西康雅（三重大学）、植松英之（福井大学）、倉敷哲生（大阪大学）、仲井朝美（岐阜大学）、西脇剛史（アシックス）]

キーワード：FRP、熱可塑性樹脂複合材料、金属基複合材料、セラミックス基複合材料、ナノコンポジット、有機・無機繊維、強化形態、マトリックス材、複合効果、傾斜機能

##### (g) 伝統的繊維製品および匠の技

[岡本陽子（神戸女子大学）、高井由佳（大阪産業大学）]

キーワード：伝統産業、天然繊維、染織文化財、きもの、組紐、編物、伝統技法、織技法、染技法、衣文化、民族衣装、保存、修理・修復、復元、文様、色彩、デザイン、データベース、文化財

## (h) 被服心理・ファッション

〔徳山孝子（神戸松蔭女子学院大学）〕

キーワード：アパレル，色彩，デザイン，消費者，ビジネス，ジェンダー，顧客満足，ブランド，流行，購買行動，ユニバーサルファッション

## (i) 染色・機能加工

〔奥林里子（京都工芸繊維大学），上坂貴宏（京都市産業技術研究所），榎本雅穂（京都女子大学），岡田倫子（滋賀県東北部工業技術センター），桑原里実（椋山女学園大学），解野誠司（和歌山県工業技術センター），廣垣和正（福井大学），松原孝典（産業技術短期大学），安永秀計（京都工芸繊維大学）〕

キーワード：染料／顔料／色素，染色・加工処理剤，新規材料合成，染色・機能加工，デジタル染色，超臨界染色加工，エコ染色加工，ドライプロセス（電子線／紫外線／プラズマ），堅ろう度向上，廃液処理，環境／持続社会，バイオベースマテリアル，食品・農芸分野，ヒューマンオリエンテッド

## (j) バーチャルテキスタイル

〔横山敦士（京都工芸繊維大学），若松栄史（大阪大学）〕

キーワード：繊維製品，バーチャル技術，数値解析，CAE，CAD

## (k) 産業用繊維資材および不織布

〔田上秀一（福井大学），増田敦士（福井県工業技術センター），矢井田修（日本不織布協会）〕

キーワード：産業用繊維資材（テクニカルテキスタイル），医療・衛生用，工業用，土木・建築用，自動車用，生活資材用，インテリア用，寝装用，皮革用，二次電池用などの不織布

## 2. 製品紹介セッション

〔武内俊次（福原産業貿易），井上真理（神戸大学），河原喜久（帝人フロンティア），迫部唯行（ユニチカ），筒井久美子（村田機械），須山浩史（東レ），馬場武一郎（日本毛織）〕

繊維全般にわたって新旧にかかわらず製品およびプロトタイプを紹介するセッションです。

その内容にPR色があっても差し支えありません。この点が、このセッションの大きな特徴です。

広い範囲から製品，技術の進展に関連する発表を募集します。口頭発表とポスター発表（ポスターセッション）の製品紹介コーナーの両方に、同じ発表内容を応募することができます（ダブルエントリーでも料金は発表1件分です）。このセッションは1日目【平成30年6月1日（金）】に開催します。

## 3. ポスターセッション

〔山本貴則（大阪産業技術研究所），小田涼太（三晶），廣垣和正（福井大学）〕

ポスターセッションは、発表者と意見交換できる場です。

このセッションには、(1) 学術研究発表コーナー、(2) 製品紹介コーナー（製品展示・実演も可能）があります。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます。このセッションは1日目【平成30年6月1日（金）】に開催します。

## 学術奨励賞について

すべての研究発表セッションを対象に（製品紹介セッション，ポスターセッションは該当しません），平成30年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って，優秀な口頭発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます。審査委員により，提出された原稿に基づく第一審査，第一審査を通過された場合，当日の口頭発表での第二審査を行います。学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意ください。ただし，ポスターセッション（審査対象外）へのダブルエントリーは可能です。

## ベストポスター発表賞について

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に（製品紹介コーナーは該当しません），平成30年3月31日の時点で35歳以下の若手発表者に限って，優秀なポスター発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます。当日【6月1日（金）昼休み】に審査を行います。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーも可能です。ただし，学術奨励賞とのダブルエントリーはできません。

**発表申込方法**

以下サイトより WEB 申込みをしてください。

URL : [https://tmsj-orjp.sslwww.jp/entry\\_annual.php](https://tmsj-orjp.sslwww.jp/entry_annual.php)

**発表申込・要旨原稿提出締切**

発表申込締切：平成 30 年 2 月 23 日（金）17 時必着

原稿提出締切：平成 30 年 4 月 9 日（月）17 時必着

**その他**

- (1) 講演 1 件につき、講演時間 20 分（質疑応答 4 分、交代 1 分を含む）を予定しています。
- (2) 口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み（ダブルエントリー）の場合は、重複申し込みしている旨をご記載下さい。
- (3) 要旨集の配布は、紙媒体（冊子）とダウンロード方式（期間限定）による配布を行います。
- (4) 講演要旨集の発行日は、平成 30 年 5 月 25 日（金）です。
- (5) 原稿は、学会 HP の年次大会頁に掲載の原稿作成要項をご参照頂き、書式にしたがって A4 判 2 枚以内にまとめて下さい。書式から大きくはずれた原稿は受付できません。
- (6) 学術奨励賞にエントリーされた発表は A4 判 2 枚で作成して下さい。
- (7) ポスターボードの大きさ
  - ①学術研究発表コーナー：たて 1170 mm、よこ 870 mm.
  - ②製品紹介コーナー：たて 841 mm、よこ 594 mm.
- (8) 参加登録費：会員・発表者 8,000 円、非会員 13,000 円、学生会員 3,000 円、学生非会員 5,000 円  
（事前登録日以降の登録（当日を含む）は各々 2,000 円追加）  
発表者は自動的に参加登録されます。あらかじめご了承下さい。

**問合先**

日本繊維機械学会 第 71 回年次大会実行委員会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: [info@tmsj.or.jp](mailto:info@tmsj.or.jp)

**第 71 回年次大会実行委員会**

委員長	勝圓 進（倉敷紡績）		
副委員長	小田 涼太（三晶）	田上 秀一（福井大学）	藤田 浩行（兵庫県立工業技術センター）
実行委員	井上 真理（神戸大学）	上坂 貴宏（京都市産業技術研究所）	植松 英之（福井大学）
	内丸もと子（テキスタイルデザイナー）	榎本 雅穂（京都女子大学）	太田 成利（村田機械）
	岡本 陽子（神戸女子大学）	奥林 里子（京都工芸繊維大学）	小野 努（岡山大学）
	金井 博幸（信州大学）	河原 喜久（帝人フロンティア）	喜成 年泰（金沢大学）
	金 翼 水（信州大学）	桑原 里実（椋山女学園大学）	倉敷 哲生（大阪大学）
	迫部 唯行（ユニチカ）	柴田 和明（シバタテクノテキス）	朱 春 紅（信州大学）
	末弘由佳理（武庫川女子大学）	須山 浩史（東レ）	高井 由佳（大阪産業大学）
	高橋 秀也（大阪市立大学）	武内 俊次（福原産業貿易）	辻 創（カケンテストセンター）
	筒井久美子（村田機械）	解野 誠司（和歌山県工業技術センター）	徳山 孝子（神戸松蔭女子学院大学）
	豊田 宏（太陽工業）	仲井 朝美（岐阜大学）	中西 康雅（三重大学）
	中根 幸治（福井大学）	西脇 剛史（アシックス）	橋本 欣三（TMT マシナリー）
	馬場武一郎（日本毛織）	廣垣 和正（福井大学）	堀 照夫（福井大学）
	増田 敦士（福井県工業技術センター）	松岡 敏生（三重県工業研究所）	松原 孝典（産業技術短期大学）
	向井 康人（名古屋大学）	保田 和則（愛媛大学）	安永 秀計（京都工芸繊維大学）
	山下 義裕（大阪成蹊短期大学）	山田 茂生（津田駒工業）	山本 貴則（大阪産業技術研究所）
	與倉 弘子（滋賀大学）	横山 敦士（京都工芸繊維大学）	安永 秀計（京都工芸繊維大学）
	若松 栄史（大阪大学）		

## 年次大会特集号 Short Paper 原稿募集

ジャーナル編集委員会では年次大会特集号の発行を計画しております。本学会では現在、論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) を隔月で刊行しており、Original Paper, Short Paper, Review, Technical Report それぞれのカテゴリーの論文を掲載しています。特集号では、このうちの Short Paper として掲載できる研究論文を募集します。

Short Paper は Original Paper と同様に未刊行の内容ですが、理論・実験・技術における新しい進歩を速報するための論文です。将来において充実した論文に完成させることを前提としたもので、原稿の長さは、原則として刷り上がり 4 頁以内です。

この特集号では、第 71 回年次大会（平成 30 年 6 月 1 日、2 日開催）において研究発表を行う皆様を対象に、Short Paper への投稿希望の有無を申請いただき、通常と同じ査読審査をより迅速に行うことで年次大会特集号に論文を掲載するものです。本特集号が、最新の繊維関連研究を俯瞰できる内容となることを意図しております。

本特集号に論文（Short Paper）の掲載を希望される方は、年次大会用の通常の予稿集原稿と同時に、刷り上がり 4 頁程度の投稿原稿を期日までにご提出ください。なお、投稿原稿（Short Paper の原稿）は学会の論文投稿規定に従って作成してください。皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。

投稿期日：平成 30 年 4 月 9 日（月）

掲載費用（別刷り料金）：有料

発行予定：第 64 巻、第 4 号（平成 30 年 8 月発行予定）

### ジャーナル編集委員会

委員長	木村 裕和（信州大学）		
副委員長	保田 和則（愛媛大学）	山本 貴則（大阪産業技術研究所）	
編集委員	井上 真理（神戸大学）	上田 博之（大阪信愛女学院短期大学）	
	植松 英之（福井大学）	金井 博幸（信州大学）	
	金田 直人（福井工業高等専門学校）	小柴 孝（奈良工業高等専門学校）	
	近藤 幹也（東京都立産業技術研究センター）	坂口 明男（信州大学）	
	廣垣 和正（福井大学）	松岡 敏生（三重県工業研究所）	
	向井 康人（名古屋大学）	安永 秀計（京都工芸繊維大学）	
	山下 義裕（大阪成蹊短期大学）	山本 剛宏（大阪電気通信大学）	
	與倉 弘子（滋賀大学）	横山 敦士（京都工芸繊維大学）	

# 日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」

2018年1月より、日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」の原稿の種類を、以下の様に変更・新設します。

旧	新
Original Paper	Original Paper
Note	Short Paper
Review	Review
新設	Technical Report

## 一般論文 (Original Paper) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

## 短報 (Short Paper) :

一般論文と同様に繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して未刊行の論文であり、萌芽的、断片的研究ではあるが信頼性が高く価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり4頁以内とする。

## 技術報告 (Technical Report) :

繊維または繊維機械に関連する技術に関する未刊行の報告で、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ており、繊維技術と繊維産業の発展に貢献する技術を公表することを重視したもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり6頁以内とする。

## レビュー (Review) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学・技術に関する最近までの研究や開発動向、将来展望を、過去の論文や報告を数多く引用してまとめた未刊行のもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

## 講演会「繊維分析機器の最新技術～糸品質, 画像解析, 触覚感性～」

近年のセンサおよびコンピュータ技術の発展によって、人間の五感知性を越えた分析技術が確立され、それらの技術は、糸、布、繊維製品の分野においても大きな革新を示しつつあります。視覚分析は、最近のカメラ画像解析技術の発展により、人間以上に高速、高分解能、広範囲のデータを多変数解析することで複雑な繊維製品の分析を可能にしています。触覚分析は、繊維の触り心地といった曖昧データを数値化し、人間感性に近いレベルが実現化しつつあります。

本講演会では、繊維分析機器の最新技術や参考となる応用事例を、糸品質、画像解析、触覚感性の3つのキーワードで紹介、解説していただきます。USTER社は紡績糸品質測定器、綿花格付機器を扱うメーカーで、『USTER STATISTICS』は60年近い歴史を持つ紡績糸品質の世界基準です。優れた技術開発と独自の品質管理手法により繊維産業で広く認知されています。ボーケン品質評価機構は画像解析によるシワ判定で、画像データ処理手法、統計的手法、ニューラルネットワーク学習等の新しい技術に取り組んでいます。京都大学山本先生は、視覚心理学、脳機能イメージング、fMRI（磁気共鳴画像法）を研究テーマとする視覚科学の専門家です。京都工芸繊維大学佐久間先生は触覚を専門分野とし、質感の「見える化」をめざしています。柔らかさを測る新たな理論を発見し小型センサの開発に成功しました。リコーインダストリーは多視点カメラ映像による生産工程可視化システムに取り組んでいます。

いずれも最新トレンドとなる分析技術であり、日ごろの活動に役立てることができる非常に興味深い講演になると思いますので、多数の方々のご参加をお待ちしております。

**期 日** 平成30年2月27日(火) 10.00～16.30

**会 場** 大阪科学技術センタービル（大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

**内 容** 予定

10.00～11.00

(1) USTER社糸品質分析機器と最新の糸指標について

..... ウスターテクノロジーズ(株)技術サービスグループ グループ長 繁樹 隆

11.10～12.10

(2) 機器測定（画像解析）によるシワの判定

..... (一財)ボーケン品質評価機構 開発部 遠藤 祐里

13.10～14.10

(3) 繊維質感の心理計測と脳計測

..... 京都大学 大学院 人間・環境学研究科助教授 山本 洋紀

14.20～15.20

(4) 質感の見える化（柔らかさを測るセンサ開発）について

..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 佐久間 淳

15.30～16.30

(5) リコーインダストリーに於ける「高品質を実現する見える化」への取り組み

～IoTの製造実践 様々な技術の融合で、新たな未来へ～

..... リコーインダストリー(株)ものづくり統括本部 戦略統括センター 生産事業開発室 峯田 稔

**協 賛** 大阪染色協会

**定 員** 40名（定員になり次第締め切らせて頂きます）

**参加費** 会員15,000円、協賛団体15,000円、非会員25,000円、学生会員1,000円、学生非会員3,000円（税別）

**申 込** 「講演会繊維分析機器の最新技術」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPより参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

# テキスタイル科学研究会平成 29 年度講演会 「感性・脳科学・テキスタイルの接点は？」

**日時** 平成 30 年 3 月 13 日(火) 13.00~16.00

**会場** 京都工芸繊維大学 6 号館 1 階 0611 講義室 (京都市左京区松ヶ崎橋上町 1)

## 内容

13.00~13.10

挨拶 ..... テキスタイル科学研究会委員長, 京都工芸繊維大学 繊維学系 鋤柄佐千子

13.10~13.40

(1) 科学研究費助成事業「脳イメージングを取り入れたインタラクティブデザインによるテキスタイルの創製について」の概要報告

..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 鋤柄佐千子

13.40~14.45

(2) 「テキスタイルの感性：心理学と脳イメージングによるアプローチ」

..... 京都大学 大学院人間・環境学研究科 山本 洋紀

..... 藍野大学 山城 博幸

15.00~15.30

(3) 「織物構造を考慮した布内部の熱伝達特性」

..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 横山 敦士

15.30~16.00

(4) 「被服デザインに向けた素材の感性評価」

..... 滋賀大学 教育学部 與倉 弘子

16.00~

(5) ホールガーメント編み機の見学 (希望者のみ)

**定員** 40 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**参加費** 無料

**申込** 「テキスタイル科学研究会平成 29 年度講演会」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④見学希望有無を記入の上 FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より参加申込書のダウンロードができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒 550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

# 平成 29 年度「テキスタイルカレッジ」のご案内

## ■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成 8 年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約 20 年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を見直すことといたしました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座として、平成 29 年度から新たな「テキスタイルカレッジ」が始まります。

## ■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2 日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」、「布」、「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既にも実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的知識の習得・再確認のための利用など、多くの方に新たに始まる「テキスタイルカレッジ」をご利用いただければ幸いです。各講座の詳細は、今後の会告でご案内させていただきます。

## 平成 29 年度「テキスタイルカレッジ」開講計画

分類	開 講 日	講 座 名	
入門	開催済	1. 「2 日で学ぶせんいと布づくり」(2 日)	
専 門 講 座	糸	開催済	1. 「天然繊維の糸づくり」(0.5 日)
		開催済	2. 「化学繊維の糸づくり」(1 日)
		開催済	3. 「合成繊維 (実用)」(2 日)
	布	開催済	1. 「組物」(0.5 日)
		開催済	2. 「織物」(1 日)
		開催済	3. 「編物」(1 日)
		開催済	4. 「不織布」(1 日)
		開催済	5. 「染色加工」(1 日)
		開催済	6. 「染色加工 (実用)」(2 日)
	製 品	2/19(月)	1. 「アパレル製品設計の基本」(1 日)
		開催済	2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として」(1 日)
		開催済	3. 「実習：感性評価のための布特性」(1 日)
		1~3 月予定	4. 「資材用繊維製品」(1 日)
		3/2(金)	5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1 日)



## テキスタイルカレッジ

## 「アパレル製品設計の基本」

最終製品としてのアパレルの製造とその性能、性能試験法、リサイクル、企画設計に関わる流行について学びます。

アパレルは、人のサイズや体型に合わせて作られ、着用時に必要な性能、耐久性を備えて製品として販売されます。その時代の流行にあわせて企画デザインすることも必要です。さらに現代の生活の中では、地球環境規模、有限の資源を前提として、生活する人間の健康を踏まえ、より豊かな、安全な、美しい外観の、快適な着心地が得られるアパレルを設計することが望まれています。

消費者には、その人にとって魅力的な着想を考え、適正な取り扱いをして長く着ていくとともにリサイクルと廃棄について最適なアパレルを選択することが望まれます。時代とともにアパレルに対する消費者の意識も変化していく中、アパレル製品を企画設計するうえで必要な知識を身につけると共に、これからの時代に求められる製品設計のための一助になることを期待しています。

**期 日** 平成30年2月19日(月)

**会 場** 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

**内 容**

- (1) 概論(10.00~10.30) …………… 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授 井上真理  
1970年代、80年代のアパレル用布地と現在用いられている布地とを比較してみると随分様変わりしました。海外から価格の安い製品が多く入ってくる中、日本国内の生産現場の事情も大きく変化しています。そのような背景の下で、本テキスタイルカレッジの流れを概説します。
- (2) 人体と衣料サイズ(10.30~11.20) …………… 元(株)ダーバン 相馬成男  
アパレル企業が、身体にフィットした衣服を企画・設計して製造するためには、ターゲットとする人体の寸法と形のデータが必要です。また、消費者は衣服購入時にサイズを必ず確認します。ここでは、人体計測法とJIS衣料サイズシステムの基礎および現在検討が進められています衣料サイズ国際標準化の動きについて講義をします。
- (3) アパレル製造工程(11.30~12.50) …………… (株)レフトバンク 取締役 岡 卓之  
デフレ経済という時代の流れと共に、日本のアパレル業界は、生産の多くを海外シフトし、いつの間にか日本国内で生産現場に接する機会は激減してしまいました。現場を知る事は、商品としての付加価値を理解する為にも非常に大切な事です。あらためてアパレル製品の企画立案から物づくりの一連の流れを時間軸をベースに説明します。
- (4) 布の実用性能(13.50~14.40) …………… (一財)カケンテストセンター 大阪事業所 森 秀樹  
アパレル製品を作成する時の基本として、生地選びの際の基本性能確認とも言える、染色堅ろう度試験や物性試験及び安全性確認としてのホルムアルデヒド試験、生地素材の混用率試験の簡単な説明と、代表的な機能性試験を説明します。
- (5) 商品表示と品質保証(衣料品の事故事例)(14.50~15.40)  
…………… (一財)ボーケン品質評価機構 業務部 大阪業務課 研修センター長 平岩清隆  
商品に付記する表示は、その商品情報を消費者に正確に伝えるために重要なもので、商品の顔と言っても過言ではありません。商品表示の種類と役割について簡単に説明します。また、より良いものづくりの参考に、実際に発生した衣料品の事故事例を紹介し、その原因について説明します。
- (6) リサイクル(15.50~16.30) …………… 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学 名誉教授 木村照夫  
21世紀型持続可能社会の構築に対して循環型社会形成の必要性が叫ばれる中、我が国の繊維廃棄物のリサイクル率は10~20%程度に留まっています。何故リサイクル率が低迷しているのか、回収システムはどのようになっているのか、どのようなりサイクル技術があるのかについて、おもに衣料品を対象に海外の動きも取り入れながら概説します。
- (7) 流行の周期「人の感性がつくる流行の周期」(16.40~17.40) …………… (株)感性リサーチ 研究員 手塚祐基  
大好きだった去年の服が、今はもう着たくない。そんな気持ちになったことはないだろうか?実は、「良いもの」が永久に良いわけではない。好き嫌いの判断も変化してしまうのだ。ある周期で変化する人の感性について知ろう。◇流行はなぜ起こる?商品やブランドの寿命は?◇感性の変化を新商品開発や営業に活かすには?

- 協賛** 大阪染色協会
- 定員** 30名（定員になり次第締め切らせていただきます）
- 参加費** 会員 15,000 円, 協賛学協会員 15,000 円, 非会員 23,000 円, 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円（税別）
- 申込** テキスタイルカレッジアパレル製品設計の基本と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先（所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス）, ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。
- 申込先** 日本繊維機械学会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 第 46 回繊維工学研究討論会（国際シンポジウム） THE 46th TEXTILE RESEARCH SYMPOSIUM AT Mt.Fuji

- 期日** 平成 30 年 9 月 3 日(月)～5 日(水)
- 会場** 帝人アカデミー富士（静岡県裾野市下和田 656）

### 企画委員会

<b>委員長</b>	中西 康雅（三重大学）		
<b>副委員長</b>	倉敷 哲生（大阪大学）	東山 幸央（兵庫県立工業技術センター）	松崎 健（ミズノ）
<b>企画委員</b>	青谷実知代（神戸松蔭女子学院大学）	伊藤 智樹（ボーケン品質評価機構）	稲富伸一郎（東洋紡）
	内丸もと子（テキスタイルデザイナー）	岡田 英基（東レ）	小川 敦久（クラレ）
	奥野 智朗（住江織物）	奥林 里子（京都工芸繊維大学）	佐久間 淳（京都工芸繊維大学）
	佐藤 克成（奈良女子大学）	滋野 治雄（帝人）	杉山 研志（TMT マシナリー）
	筒井久美子（村田機械）	中根 幸治（福井大学）	西田 裕紀（関西ファッション連合）
	野田 博丈（トヨタ紡織）	馬場武一郎（日本毛織）	原 茂（豊田自動織機）
	伴場 秀樹（津田駒工業）	廣澤 覚（京都市産業技術研究所）	深沢太香子（京都教育大学）
	堀場 洋輔（信州大学）	森島 英暢（倉敷紡績）	山田 博夫（ユニチカトレーディング）
	山田由佳子（大阪教育大学）	山本 温子（カトーテック）	若松 栄史（大阪大学）
<b>アドバイザー</b>	宇治 光洋（ダイセン(繊維ニュース)）	木村 照夫（元京都工芸繊維大学）	武内 俊次（福原産業貿易）
	中村 信（ダイキン工業）	藤井 明彦（繊維評価技術協議会）	松下 義弘（京都工芸繊維大学）
	六田 克俊（高知県立紙産業技術センター）		

## テキスタイルカレッジ

## 繊維製品の品質管理と品質保証

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について元繊維評価技術協議会の越智様から、製品クレームの事象と対策例についてポーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡織、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、TMT ソリューションズ(株)、津田駒工業(株)、尾張繊維技術センターから解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成 30 年 3 月 2 日(金) 10.00~18.25

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28 号出口北へ徒歩 5 分)

**内 容**

- (1) 生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明 (10.00~11.10)  
..... (一財)ニッセンケン品質評価センター 大阪事業所 課長 中野 隆史
- (2) 機能性試験の内容と評価基準 (11.15~12.25)  
..... 元 (一社)繊維評価技術協議会 日本繊維学会フェロー 越智 清一
- (3) 製品クレームの事象と対策例 (13.15~14.25)  
..... (一財)ポーケン品質評価機構 業務部 大阪業務課 研修センター長 平岩 清隆
- (4) 溶融紡糸長繊維生産品の品質欠点について (14.30~15.30)  
..... TMT ソリューションズ(株) 参与 中田 賢一
- (5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響 (15.35~16.35)  
..... 村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守
- (6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響 (16.40~17.30)  
..... 津田駒工業(株) 繊維機械技術部 部長 伴場 秀樹
- (7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響 (17.35~18.25)  
..... あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室 山内 宏城

**協 費** 大阪染色協会

**参加費** 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

**定 員** 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

**テキスタイルカレッジ**

# 2日で学ぶせんいと布づくり

テキスタイルカレッジシリーズの入門編として、繊維工学を系統的に学ぶ機会の少なかった新入社員の方、新しく繊維業務に携わられる方などを対象に、2日間でせんいと布づくりの大まかな流れ・基本的用語等を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に繊維業務に携わっておられる方にとっては、繊維と繊維製品の製造、性能、用途について再認識していただく場になればと思います。関係各位、多数の方々のご参加をお待ちしています。

**期 日** 平成30年5月21日(月)、22日(火)

**会 場** 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

**内 容** 予定

## 1日目【5月21日(月)】

- (1) テキスタイル概論 (9.30~10.40)  
..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 鋤柄佐千子
- (2) 繊維の材料 (天然繊維と化学繊維の種類、構造と性質) (10.50~12.20)  
..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 山根 秀樹
- (3) 糸 (13.20~14.30)  
..... (株)豊田自動織機
- (4) 織物 (14.40~15.50)  
..... 金沢大学 理工研究域機械工学系 教授 喜成 年泰
- (5) 編物 (16.00~17.10)  
..... 福井県工業技術センター 繊維研究グループ 柳生 智章
- (6) 環境 (17.20~18.30)  
..... 繊維リサイクル技術研究会委員長, 京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫

## 2日目【5月22日(火)】

- (7) 不織布 (10.00~11.30)  
..... 日本繊維機械学会フェロー, 日本不織布協会顧問 矢井田 修
- (8) 染色加工 (12.30~14.00)  
..... 未定
- (9) アパレル (14.10~15.20)  
..... (株)レフトバンク 取締役 岡 卓之
- (10) 産業資材 (15.30~16.40)  
..... (株)クラレ
- (11) 修了証贈呈式 (16.40~16.45)

**協 賛** 関西ファッション連合, 大阪染色協会

**定 員** 50名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

**参加費** 会員 25,000円, 協賛学協会員 25,000円, 非会員 33,000円, 学生会員 5,000円, 学生非会員 7,000円 (税別)

**申 込** 「テキスタイルカレッジ2日で学ぶせんいと布づくり」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④会員種別, ⑤交流会 (無料) への参加有無を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込みができます。

**申込先** 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

# 創立 70 周年記念 若手研究者・技術者育成事業 日本繊維機械学会「学術研究奨励賞」募集要項

## 1. 趣旨

本学術研究奨励賞は、日本繊維機械学会の創立 70 周年を記念して、繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究を行う若手研究者に対して授与し、繊維工学の発展に寄与する人材を育成することを目的としたものです。

## 2. 応募資格

2017 年 12 月 31 日において 45 歳以下の研究者・技術者

## 3. 研究テーマ

繊維および繊維機械に関する科学・工学の基礎的・萌芽的または総合的研究

## 4. 応募の方法

所定の研究計画書ファイルを学会 HP からダウンロードして作成し、日本繊維機械学会事務局宛に提出してください。

## 5. 応募の締め切り

2018 年 2 月 5 日(月) 必着

## 6. 選考結果の発表

2018 年 5 月中旬までに、申請書を元に審査のうえ贈賞者を決定し、本人に書状にて通知します。

## 7. 表彰

2018 年 6 月 2 日(土)【年次大会 2 日目】に、学会賞授与式を開催します。  
賞状ならびに副賞（奨学寄付金：1 件につき最大 50 万円）を授与します。

## 8. 研究成果の報告

所定期間内（原則三年以内）に報告書を提出し、日本繊維機械学会（以下本学会）年次大会で成果を発表すること。  
さらに、研究終了後所定の期間内（原則一年以内）に成果をまとめ、本学会の学術論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) に投稿すること。

なお、会社に帰属する研究成果の公表の可否と範囲については、受賞決定後に選考委員会と協議する。

## 9. 留意事項

- 1) 受賞時には本学会の会員であること。
- 2) 応募に際して本学会員の推薦を必要とする。
- 3) 企業の研究者が応募する場合は、あらかじめ所属する部局長の承諾を得ること。

## 平成 30 年度日本繊維機械学会フェロー推薦のお願い

日本繊維機械学会では平成 19 年の創立 60 周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。フェロー制度は欧米では早くから確立されており、フェローとなる会員は、学会を代表するにふさわしい研究者、技術者として認定され、その自覚を持って社会的に活躍されています。

本学会では繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた正会員に、「日本繊維機械学会フェロー」の称号を授与し、会員の地位向上ならびに国際活動を円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的として、この制度を設けました。

下記の「日本繊維機械学会フェロー規程」ならびに「日本繊維機械学会フェロー内規」をご参照の上、自薦他薦を問いませんので、平成 30 年 2 月 28 日(水)までにご適任の方をご推薦頂きますようお願い申し上げます。

ご推薦頂きます場合は「フェロー推薦書」と明記し、①候補者氏名、②所属、③肩書、④連絡先、⑤推薦者氏名（自薦の場合は不要）を記入の上、FAX. 06-6443-4694 または E-mail: info@tmsj.or.jp 宛お送り下さい。

## 日本繊維機械学会フェロー規程

### 目 的

第 1 条 繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた会員に、日本繊維機械学会フェロー（以下フェローと称す）の称号を与え、会員の地位向上ならびに国際活動をより円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的とする。

### フェロー候補資格

第 2 条 フェローの称号を受ける資格は、原則として次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 正会員歴 10 年以上で、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の分野で顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (2) 正会員歴 15 年以上で本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (3) 維持会員ならびに賛助会員の各社あるいは各団体に通算 20 年以上在籍し、本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (4) 会長が認めた場合は上記以外でもフェロー称号を受ける資格者として認める。

### 推薦方法

第 3 条 フェローの称号は推薦により授与するものとし、推薦の方法は原則として次のいずれかによるものとする。

- (1) 自薦
- (2) 本学会の理事ならびに監事、各種研究会および委員会の委員長または支部長からの推薦のあった会員

### 推薦の時期

第 4 条 推薦者は所定の期日までに推薦書より選考委員会に申し出るものとする。

### 選考方法

第 5 条 フェロー候補者を選考するためにフェロー選考委員会を設ける。

### 認 定

第 6 条 フェロー選考委員会の選考結果に基づき、理事会の議決により認定し、日本繊維機械学会フェローの称号を授与する。フェロー認定書は、フェロー認定式において贈呈する。

### 任 務

第 7 条 フェローの称号を得た会員は、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の専門家として、傑出した研究者・技術者たることを自覚し、本学会の指導的会員として学会諸活動への積極的かつ能動的な参画を通じて本学会の目的達成のために率先して協力する。

### 登録費

第 8 条 フェローの称号を得た会員は、年会費とは別に定めた登録費を支払うものとする。

### フェローの返上

第 9 条 フェローとしての任務が不可能となった場合は、本人の申し出によりフェローの称号を返上することができる。

### 附 則

1. 本規程の改廃は理事会の議決による。
2. 本規程は平成 20 年 3 月 15 日より実施する。
3. 本規程は平成 27 年 1 月 24 日より実施する。

## 日本繊維機械学会フェロー内規

### 1. 推薦基準

(1) 候補者は、学術的・技術的業績に優れている者または学会活動に顕著な貢献を成した者とする。

### 2. フェロー選考委員会

(1) フェロー選考委員会は次の5名で構成する。選考委員については理事会の承認を得るものとする。

委員長 1名（理事）

副委員長 1名（理事）

委員 3名（委員長指名による会員）

(2) あらかじめ提出された推薦書をもとに選考委員会において議決し、その結果を理事会に報告する。選考委員会における審査は全員の出席を原則とするが、止むを得ない事情が認められた場合は、書面による審査意見の提出によりこれに代えることができる。

(3) 選考の経過ならびに内容については公表しない。

### 3. 登録費

フェローの称号を得た会員は、本学会活動の活性化のために年会費とは別に、年会費5年分の登録費を登録年度に1回のみ支払う。

### 附 則

1. 本内規の改廃は理事会の決議による。
2. 本内規は平成20年3月15日より実施する。
3. 本内規は平成27年1月24日より実施する。

## 平成30年度日本繊維機械学会賞「学術賞」募集

平成30年度日本繊維機械学会賞「学術賞」の募集を行いますので、下記の要領により応募して下さい。

「学術賞」の贈賞についての受賞資格は、本学会の会員であり、Original Paperを多数発表した新進の研究者を対象とします。「多数」とは、JTE（Journal of Textile Engineering, 本学会論文集）に掲載されたOriginal Paperが「5編以上」とします。また、「新進の研究者」とは、年齢が当該年の前年の12月31日で、40歳以下の者とします。応募される方は、下記の書類を添えて、平成30年2月5日（月）必着にて、下記宛送付して下さい。

次の内容に明記された書類一部（様式は自由）

- 提出書類**
- (1) 氏名ならびに生年月日
  - (2) JTEに掲載された論文一覧（著者名全員、発行年、題目、巻号、初頁—終頁）
  - (3) 推薦書（自薦、他薦にかかわらず400字以内）

**申込先** 日本繊維機械学会 学術賞選考委員会  
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル  
TEL: 06-6443-4691, FAX: 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

## 北陸支部 講演会「感性ともものづくりの融合」

製品の設計・開発において、“ユーザの感覚・感性にマッチする”ということがますます重要視されるようになってきています。“ユーザの感覚・感性にマッチする”とは、具体的にどのようなことなのか、どのような方法があるのかなどを専門家の方にご講演いただき、感性ともものづくりとを融合させるためのヒントを得る機会をご提供できればと企画いたしました。多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

**期 日** 平成 30 年 2 月 27 日(火) 14.00~16.30

**会 場** 金沢大学角間キャンパス自然科学 3 号館 3 階 3B315 室  
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/>

### 内 容

14.00~14.05 挨拶

14.05~15.05 講演 (1)「身体負担の評価と作業環境・製品設計への応用」

..... 金沢大学 新学術創成研究機構 茅原 崇徳

15.05~15.20 休憩

15.20~16.20 講演 (2)「快適感の計測を目指して」

..... 信州大学 学術研究院 (繊維学系 (総合工学系)) 上條 正義

16.20~16.30 名刺交換等

**共 催** 日本繊維機械学会北陸支部, 繊維学会北陸支部

**参加費** 無料

**申 込** 氏名, 所属, 連絡先 (電話番号, 返信用メールアドレス) を明記のうえ, 下記宛申込みください。

**申込・問合せ先** 金沢大学 理工研究域 機械工学系 若子倫菜

〒 920-1192 石川県金沢市角間町

FAX : 076-234-4639, E-mail : linawakako@se.kanazawa-u.ac.jp

## 関東支部 見学会のご案内

関東支部では、かつて東の西陣と呼ばれた群馬県桐生地域において、伝統織物工房と繊維関連施設の見学会を企画しています。詳細は次号でお知らせ致します。奮ってご参加下さい。

**期 日** 平成 30 年 4 月 27 日(金) 13.00~

**見学先** 桐生織伝統工芸士 泉 太郎氏 工房 他

**集合場所** 桐生市市民文化会館前 (群馬県桐生市織姫町 2-5, JR 桐生駅下車 徒歩 7 分)

現地まで連絡バスを使用予定, 地図 : <http://www.kiryu-piif.jp/>

**定 員** 20 名

**参加費** 無料

**申込・問合せ先** 可能な限り E-mail でお願いします。

河原 豊 (Tel/Fax : 0277-30-1491, kawahara@gunma-u.ac.jp)

群馬大学 理工学部 環境創生部門

〒 376-8515 桐生市天神町一丁目 5 番 1 号

**その他** 申し込みの際は, 参加人数, 連絡先メールアドレスを必ずお知らせ願います。



## (一社) 日本繊維機械学会 会費減免規程

### (目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本繊維機械学会会費規程第2条第2項に基づき、一般社団法人日本繊維機械学会（以下「本会」という）の組織強化のために、正会員の会費年額の減免措置について定める。

### (定義)

第2条 この規程における「従業員」の定義は、下記に定めるところによる。

「従業員」とは、正規、非正規関係なく企業・団体と直接雇用契約を結び、業務に従事する者をいう。

### (年会費の減免)

第3条 本会の正会員の会費年額が8,000円であることは、会費規程第2条に明記されているが、以下のいずれかに該当する者については、本人からの申請により下記の減免措置を受けることができる。

- 1 ゴールド割引：本会の賛助会員または維持会員の従業員が本会の正会員となるとき、あるいは本会の正会員が賛助会員または維持会員の従業員である場合は、会費年額を2,000円とすることができる。但し、この減免措置を受けることのできる正会員数は、賛助会員1口につき10名、維持会員1口につき30名を上限とする。
- 2 シルバー割引：本会の正会員、あるいは賛助会員または維持会員の従業員で満65歳を越え且つ下記の在籍年数が5年以上ある場合には、会費年額を2,000円とすることができる。
  - ①本会の正会員としての在籍年数
  - ②賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数
  - ③上記①、②を合算した在籍年数
- 3 ブロンズ割引：本会に正会員として初めて入会したときは、1年間の会費年額を4,000円とすることができる。但し、年度の途中において入会した場合は、会員になった初年度の会費及び翌年度の会費について適用する。

### (最低額の会費年額の適用)

第4条 本会の正会員が前条の2つ以上の事項に該当した場合は、その内最も低額の会費年額が適用される。

### (減免の時期)

第5条 年度途中で第2条の減免理由が発生した場合においても、会費規程第3条の「前納」の原則は優先されるものとする。また、すでに納入された会費は返還しない。

### (改廃)

第6条 この規程は、理事会の決議によって変更することができる。

### (附則)

この規定は平成29年11月11日より施行する。

【現状の会費規定】

会員種別	資格	会費
1. 名誉会員	個人	無料
2. 正会員	個人	8,000 円
3. 学生会員	在学中の学生	2,000 円
4. 賛助会員	団体、個人	95,000 円
5. 維持会員	団体、個人	280,000 円

【新しい会費減免規定（平成 30 年度年会費より適用）】

会員種別	資格	減免種別	年会費	減免資格内容
1. 名誉会員	個人	-	無料	-
2. 正会員	個人	-	8,000 円	-
		ゴールド割引	2,000 円	維持会員あるいは賛助会員の従業員が本会の正会員である場合
		シルバー割引	2,000 円	満 65 歳以上の正会員で下記の在籍年数が 5 年以上である場合 ① 本会の正会員としての在籍年数 ② 賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数 ③ 上記①、②を合算した在籍年数
		ブロンズ割引	4,000 円	本会に初めて正会員として入会した場合（年度途中で入会の場合は翌年にも適用）
3. 学生会員	在学中の学生	-	2,000 円	-
4. 賛助会員	団体、個人	-	95,000 円	-
5. 維持会員	団体、個人	-	280,000 円	-

【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】

<b>塾長</b>	松田 正夫（元大阪繊維リソースセンター社長）	
<b>副塾長</b>	近藤 健一（大正紡績(株) 繊維事業本部長 兼 東京営業所長） 八代 芳明（東海染工(株) 取締役会長）	松尾 憲久（マツオインターナショナル(株) 代表取締役社長） 山下 雅生（(株)エイガールズ 取締役会長）
<b>幹事</b>	松下 義弘（京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任教授）	
<b>運営委員</b>	糸井 弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当） 臼谷旗世彦（大津毛織(株) 代表取締役） 北丸 豊（豊栄繊維(株) 代表取締役社長） 高澤 史納（高澤織物(株) テキスタイルデザイナー） 辰巳 雅美（辰巳織布(株) 代表取締役社長） 米倉 勝久（(株)タカラ 代表取締役会長）	宇治 光洋（ダイセン(株)（繊維ニュース）編集グループ記者） 貝原 良治（カイハラ(株) 代表取締役会長） 桑名 紀夫（日本パーソナルカラー協会 顧問） 高杉 哲朗（(株)ショーワ 代表取締役社長） 山本 敏明（西染工(株) 代表取締役） 渡邊 利雄（渡辺パイル織物(株) 代表取締役社長）

## お知らせ FMC2月度セミナー

FMC（ファッション素材センター）の2月度セミナーは、下記により開催されます。非会員でもビジターとして参加できます。ご関心のある方はお申込み下さい。

詳しくは FMC のホームページ ([http://www.geocities.jp/fmc\\_webpage/](http://www.geocities.jp/fmc_webpage/)) をご参照下さい。

**期 日** 平成30年2月2日(金) 18.15～20.00

**会 場** 大阪産業創造館 6F 研修室 E (大阪市中央区本町 1-4-5)

**内 容** なりたいようになるための1・2・3～マネジメントシステムの 考え方～

皆様自身も会社も家族も仲良しグループも、み～んな“なりたいように”になるために、なんと！国際規格の考え方が役に立つんです。小難しい話は別にして、ちょっとかじってみませんか？

マネジメントシステムの国際規格である ISO9001, ISO14001 が 2015 年に改訂されました。そこで強化された内容が実は、実は、私たちの“なりたいように”なるためにノウハウが詰まっています。今回は、そんなマネジメントシステムの物事のとらえ方、対策の練り方をご紹介しますと思います。

**講 師** ジンノ技術士事務所 所長 神野 友香子

**参加費** ビジター会員 2,000 円。当日受付にてご納入下さい。[会員は年 11 回のセミナー (10 月は見学会) に無料で参加できます。年会費 12,000 円でどなたでも会員になれます。]

**申 込** 「FMC2 月度セミナー」と明記し、①氏名、②住所、③電話または FAX 番号をご記入の上、1 月 26 日 (金) までに E-mail にてお申し込み下さい。

**申込先** 武庫川女子大学短期大学部 生活造形学科内 FMC 事務局  
E-mail : [fmc.office.mail@gmail.com](mailto:fmc.office.mail@gmail.com)

## お知らせ 第63回公開講演会

**日 時** 平成30年2月16日(金) 13.30～16.30

**会 場** 大阪産業創造館 5F 研修室 E (大阪市中央区本町 1-4-5)

**内 容**

(1) IoT を使って世界のお客様とつながる～繊維機械の事例～

..... 村田機械(株)繊維機械事業部 技術サービス部 部長 里見 眞一

(2) スマートテキスタイル技術動向と住江織物 繊維／布帛型太陽電池の開発

..... 住江織物(株)技術・生産本部 テクニカルセンター長 源中 修一

**申込・問合せ先** 一般社団法人日本繊維技術士センター (JTCC)

TEL : 06-6484-6506, FAX : 06-6484-6575, E-mail: [jtcc@nifty.com](mailto:jtcc@nifty.com)

**その他** 詳細は日本繊維技術士センターの HP (<http://www.jtcc.or.jp/>) をご参照下さい。

### 染色加工研究委員会

<b>委員長</b>	上甲 恭平 (椋山女学園大学)		
<b>運営委員</b>	伊藤 博 (イトービーイーオフィス)	今田 邦彦 (今田技術士事務所)	上坂 貴宏 (京都市産業技術研究所)
	上野 清隆 (日阪製作所)	榎本 雅穂 (京都女子大学)	岡田 倫子 (滋賀県東部工業技術センター)
	奥林 里子 (京都工芸繊維大学)	越智 清一 (元繊維評価技術協議会)	改森 道信 (改森技術士事務所)
	金崎 英夫 (金崎技術士事務所)	桑原 里実 (椋山女学園大学)	嶋田幸二郎 (嶋田技術士事務所)
	解野 誠司 (和歌山県工業技術センター)	長澤 則夫 (元日本羊毛産業協会)	橋本 嘉顯 (東洋紡カンキョーテクノ)
	廣垣 和正 (福井大学)	松原 孝典 (産業技術短期大学)	森本 國宏 (森本技術士事務所)
	安永 秀計 (京都工芸繊維大学)	吉川 雅敏 (東洋紡)	